



## 【事務所】

☎274-0825 船橋市前原西8-24-8  
 ☎047(490)3333 FAX 047(465)7117  
 Eメール hiroei@muc.biglobe.ne.jp  
 ホームページ http://www.hiroei.jp

## 【自宅】

☎273-0862 船橋市駿河台2-29-18  
 ☎047(425)1110 携帯電話 090-3144-6990

次のうち正しい言葉はどちらでしょうか。(正解は次頁の終わりに)

- これは金持ちがひまに ①あかせて 集めた美術品だ。  
②まかせて
- このことは、前の担当者の二の舞を ①ふむ ことになる。  
②演じる

4月の市議会議員選挙を終え、初めての定例会(平成27年第2回)が6月29日に閉会しました。自分のことを棚に上げて言わせて戴くと、新人議員がどのような態度でどんな質問するのか、大変興味がありました。

新人議員19人のうち17人が質問されました。選挙戦での公約を取り上げた人、得意とする分野を取り上げた人、出身地域の問題を取り上げた人。慣れない本会議場での質問に戸惑いがみられましたが、それぞれが堂々として、しっかり勉強してきたなあ、というのが印象でした。

ところで、一部の議員から「普段から議員活動しているから、本会議で質問なんかしなくてもいいんだ」という話をよく聞きます。こう言う人はほとんど質問をしない人です。この言葉も一理はあると思いますが、私は議会で質問することで、皆様の声を形に表すことができると思います。

とはいえ、現在の私は自分自身のことで悩んでいます。まず、大変有り難いことですが、議員選出の監査委員になったことです。監査委員は市の予算や決算、日常の業務などを監査する立場で、責任のある重要な役職です。監査委員として知り得たことは守秘義務があり、ほとんどすべての案件がこれに該当し、議会での質問範囲がものすごく狭くなりました。さらに、会派「新成」の代表として、4人の新人議員の方に質問機会をより多く提供しなければならないと考えているからです。

私は議員になって12年間、全ての議会で質問してまいりました。これを崩したくない思いもあり悩んでいるわけです。質問の継続を考えての悩みです。

第2回定例会では、持ち時間が15分ありましたが、質問したいことが多くあり、用意した質問の全てをすることはできませんでした。今回は、その中から1項目掲載します。



## 歩行者と自転車の通行について

最近、道路を車で走行していると目に余ることがあります。子供も大人も左側を歩いている人が多いのです。船橋市の生活道路や通学路は、ご承知のように大変狭く曲がりくねっています。歩道の無い狭い道路を右と左にバラバラに歩いている歩行者の間を、縫うように車が走っています。特に困るのが雨天で傘を差して歩いている場合です。

歩行者からみると「車が邪魔だ」と思っていることでしょうか、私たちは「車は左、人は右」と厳しく教えられて育ちました。私もたまに車ではなく歩くことがありますが、体に染み付いているのか、右側を歩かないと落ち着きません。すぐ左折したり左側に用がある場合は左側歩行する場合がありますが、比較的長い距離を歩く場合は無意識に右側歩行していると思っています。

右ハンドルだからね



右側歩行には理由があるように思います。日本車はほとんどが右ハンドルだから、左側を歩いている人との距離感が難しいこと、また、左側の歩く人の後ろから車で追いかける形だと、歩行者が車に気付かず急な動作をとった際にハンドルの切り替えや停止が間に合わないことがあるからではないかと思っています。

そこで、学校で、特に小学校で「車は左、人は右」という言葉の教育をしているのか聞きました。

#### → 学校教育部長の答弁

小学校においては、学習指導要領に基づき、年間計画の中で、交通安全に関する指導を位置づけています。「交通安全教室」では、1年生に道路を歩くときのルールとして「車道を歩くときは、右の端を歩くこと」「道路の横断の仕方」「正しい信号の見方（信号は青の時だけ渡る）」などを中心に指導していると同時に、その習慣化を図るための指導を行っています。

との答弁でしたが、私は《いくら学校で「交通安全」の指導しても、現実には全くと言っていいほど効果が見られない。どうしたら効果が上がる指導となるのか真剣に考えてもらいたい。特に1年生は先生から指導されると絶大な効果があることは承知している。しかし2年生以上になると自我の芽生えとともに、その効果が薄れてしまうのが現実ではないか。全校児童や中学生に対しても、繰り返し繰り返し指導するのが効果的だし、大変と思うが、先生方が直接通学路に赴き指導することも効果的ではないか。大きな事故が起こる前に、是非とも「交通ルールを守る」厳しい指導をお願いする。「交通ルール」に関しては、手本となるべき大人も歩きスマホをしながら、左右関係なく歩いていて全くお手本にならない。恥ずかしい話だが、子供達がお手本となり大人が見習うようにしないと駄目かもしれない》と要望と意見を述べました。



次に、JRや私鉄の駅舎の階段で、丁寧にも矢印や文字で「左側を歩いてください」なんて書いてある。導線からその方が良い場合もあるが、どうも納得がいかない。道路は右側、駅舎に着くと左側通行。現状を確認してもらい、どのように感じるか、聞きました。

#### → 企画財政部長の答弁

駅舎での通行について、各鉄道事業者を確認したところ、一部を除いて大部分は全社的な取り決めはなく、駅の構造や導線に応じて各駅で決めているとのことでした。駅舎は各鉄道事業者によって管理されていることから、これについて市では申し上げる立場にございません。

#### 自転車は車両です

歩行者だけでなく、自転車の乗り方も危険な状態にあります。6月1日から重大な事故につながる「危険行為」を繰り返した運転者に、安全講習の受講を義務づける「改正道路交通法」が施行されました。3年以内に2回以上、危険行為で摘発された14歳以上の運転者に安全講習の受講が義務づけられたものですが、私は現状を考えると全く生ぬるいものと思いません。たまたま警察官に捕まった人が摘発されるわけで、それ以外は全く野放し状態ということになります。



「危険行為」には、①信号無視、②酒酔い運転、③スマホ・携帯電話しながらの運転、④通行禁止違反、⑤通行区分違反など14項目あります。歩道を走行しては原則違反となりますが、毎日どこでも見かけます。

以前に自転車が歩行者にぶつかり、歩行者が死亡する事故が近所でありました。「自転車だから安全だ」なんてことは絶対にありません。ご自分のためにも是非保険に入っておくことをお進めします。

#### 《問題の正解》

1. ①あかせて ◇「飽かせて」と書く。時間をかけて物事を行う、という意味。
2. ②演じる ◇前の人と同じ失敗を繰り返すこと。二の舞を踏むは「二の足を踏む」と混同。

(株式会社サンリオ発行の「知ってますか」より)